

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 様貸介護施設 新築工	階数	地上6F
建設地	兵庫県川西市	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	142 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年10月21日
敷地面積	948 m ²	作成者	(株)ティーディーシー
建築面積	461 m ²	確認日	2014年10月24日
延床面積	2,156 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参照値: 100%
 建築物の取組み: 92%
 上記+: 92%
 上記+: 92%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	入所者が気持ちよく過ごせるよう、各居室は掃出し窓とし、明るく清潔な室内空間となるとともにベランダにも出入りできるように計画している。 敷地南側は遊歩道に面しているため、遊歩道の植栽と一体となるような緑化計画を行っている。	その他 0
Q1 室内環境	共用、居室ともに光が十分に室内に差し込むよう開口を大きくとっている。また開口部からの外気負荷を軽減するよう複層ガラスを採用し、光が差し込む暖かな空間を創出している。	Q3 室外環境(敷地内) 遊歩道の植栽を意識した緑化計画を行い、外装は淡い色調とすることで周囲のまちなみから突出しないよう配慮している。 玄関周りに庇のあるポーチを配置し、周りを緑化すること
LR1 エネルギー	外壁はALC、屋根はケラ、開口部は複層ガラスすることで高断熱化を図っている。 設備については、EHPや局所換気による搬送動力の軽減を図り、また高効率照明器具の設置するなど、設備の高効率化に努めている。	LR3 敷地外環境 敷地に余裕をもたせた配置としており、敷地内を風が通り抜ける計画となっている。
Q2 サービス性能	外装は耐候性に優れたエポキシ系の塗材仕上、外部階段は溶融亜鉛メッキ仕上としておりメンテナンス性に配慮している。 外周をベランダで囲んだ計画のため外部からのガラスの清掃も安全・容易である。	
LR2 資源・マテリアル	便器は節水型の器具を採用し、洗面水栓は自動水栓としており、節水を図っている。 外壁はALC、屋根はケラ断熱材により断熱を図っているため、ODP・GWPともに低い設計となっている。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される